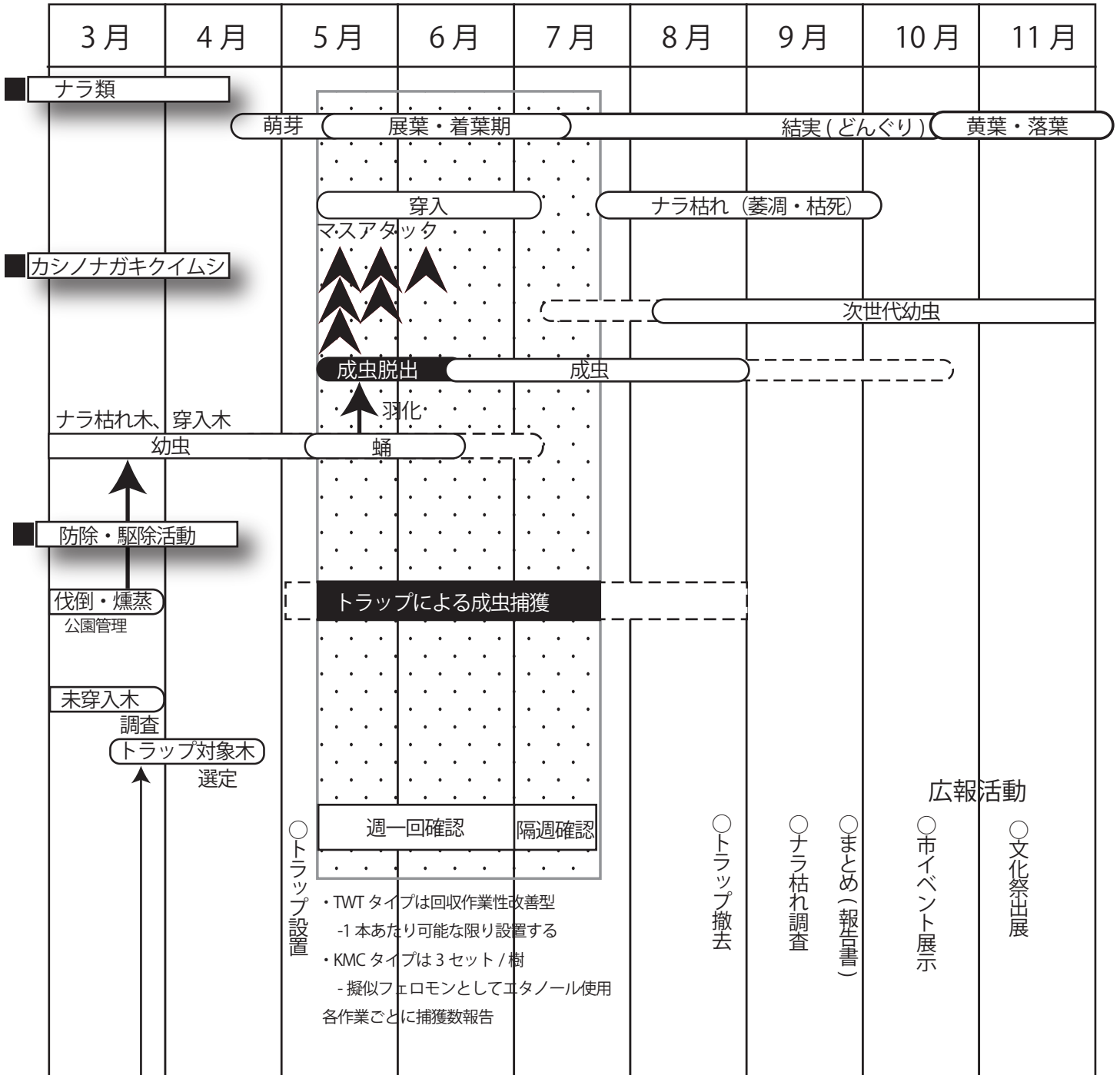


2023 年ナラ枯れ防除活動計画 (案)

2023/3/26 会議資料

- ①捕獲効率が高く生物多様性に配慮したトラップ方式にする。
 - ・資機材は市からの支給で対応する。
 - ・最初のマスアタックのダメージを低減させる (生存穿入木をつくる)
- ②見直したチーム編成で拡大活動域に対応した作業負荷平準化を図る。



トラップは

- ①見晴らしの良いところの木
- ②明るい場所にある大径木
- ③飛来方向を予測、道沿い
- ④前年に枯れた木のそば
- ⑤穿入生存木

推奨：

- ・枯死木や大量のフラスが出ている木には設置しない
- ・根本側にも設置する
- ・根回り半径2m程度下草刈りする(特にKMCタイプ)

KMCタイプは
擬似フェロモンとしてエタノールを使うので

- ・マスアタック時の誘引効果があり捕獲量が増える
- ・捕獲虫の腐敗が防げる
- ・雨水侵入防止構造により何度も繰り返し使える(補充は必要)

嵌合構造のため取扱注意(過大入力で破損の恐れ)

支給品(借用品)のため、維持管理に特に注意をしてください。